

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	鉄骨非破壊検査小委員会		主 査 名：田中 剛 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 鉄骨工事運営委員会		委員長名：田中 享二 主 査 名：田淵 基嗣
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	2006 年度：「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」の改定作業 2007 年度：「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」改訂版の刊行と講習会 2008 年度：近年の鉄骨構造形式、鉄骨生産方式に対応した非破壊検査のあり方に関する検討 2009 年度：規準の見直し項目を整理し、次期改定のための資料を収集する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 田中剛(神戸大学), 倉持貢(清水建設), 石井匠(JFE), 石原莞爾(大手町ファストスクエア), 笠原基弘(ジャスト), 上平綱昭(エンジニアリングサービス), 川口淳(三重大学), 坂本真一(清水建設), 嶋徹(戸田建設), 鈴木孝彦(新日鉄), 津山巖(日建設計), 中込忠男(信州大学), 橋田知幸(片山ストラテック), 藤本信夫(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事 2. 鉄骨工事技術指針・工場製作編 3. 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編	
講習会	1. 「JASS6」改定講習会	参加者数 2000 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)		
大会研究集会	1. 材料施工部門「パネルディスカッション」 (資料名：固形エンドタブ工法を用いた梁端溶接接合部の欠陥評価を考える)	参加者数 150 名
対外的意見表明・パブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「鉄骨造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」の改定作業を行い、現在内容を詰めている段階である。 2. 「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事」および「鉄骨工事技術指針」の改定作業に協力した。 3. 2006 年度大会において、溶接小委員会とともに、パネルディスカッションを開催した。	
委員会活動の問題点・課題	1. 定作業に伴い小委員会の開催数を多くせざるを得ないが、圧倒的に予算が不足しているため、各委員の旅費を個人負担とせざるを得ない。	